

## 遊行期をひかえた74才

時を打つ電波時計の音は私の拙い耳にも“まあだだかい”と響きます。心尽くしの素晴らしい74才の誕生日プレゼント有難く頂戴いたします。

楽観的な構想から悲観的な計画のプロセスと経て、どうやら楽観的な実行への第3コーナーに差し掛かったようです。

安全、協調、信頼をモットーに総力を挙げてゴールへ、といってもそれからが大変でしょうが、皆様頑張りましょう。皆様は自らが施主であり、経営者の一人としての自覚を抱いて下さい。

理事長室にはこの20数年“鬼手仏心”の墨書を掛けていましたが、昨年末より“蟻トンボ人間”に掛け替えました。これは城山三郎氏と丹羽宇一郎氏の対談で交わされた言葉で、若い時は蟻のように仕事を、その次はトンボのような複眼をもって物事を観察し、リーダーのポジションに立てば人間の心（慈悲）をもって事にあたるようにとの意味だそうです。

新たな自省の額を眺めつつ、残された日々を皆様と一緒に着実に歩んでいきたいと念じています。

皆様方のご好意に心から厚くお礼申し上げます。

平成26年1月19日

理事長 市丸 喜一郎